



大きな変化を生むきっかけ

名古屋工業大学の高田先生からバトンを引き継ぎました富山高等専門学校の間中です。高田主岳先生とは、同誌のトピックス執筆の指名を頂いたことがきっかけで知り合い、その後も、中部支部の活動などでお世話になっております。今回もまた、このような執筆の機会を頂き感謝するとともに、同誌を通じたご縁に改めてお礼申し上げます。

まず初めに自身の研究について簡単にご紹介させていただきます。私は現在、急激な変色反応を用いた簡易計測法の開発に関する研究を行っております。今回は、日頃研究している急激な変色反応のように、時の流れとともに感じる大きな変化について書いていきたいと思っております。

子供時代、通院していた接骨院の先生から、人間が普通に歩く動作は複雑なメカニズムで成り立ち、ロボットでの二足歩行は実現不可能であると聞かされました。当時ロボットアニメに憧れていた私にとって子供心にはがっかりしたことを記憶しております。しかしながら、現在、ASIMOをはじめ様々な二足歩行のロボットを目にする機会が増えてきました。また、同様にドラえもんの世界のような車の自動運転についても、実現不可能と言われておりましたが、アイサイトなど研究開発が進んできています。このように、当時、実現不可能と思われていたものが実現可能なものへと、大きく変化しています。

それでは、私自身に関してはどうでしょう。身長・体重・体型ともに高校時代からそれほど変化もなく、度々初対面の方に学生と間違えられる自身ですが、大きな変化がいくつかあることに気づきました。例えば、大学入学当時。嫌いな科目は分析化学と情報処理で、なりたくない職業は教員でした。けれども、現在、そのなりたくない職業に就き、嫌いだった科目の授業をしており、入学当初の自分が見たら驚くような進路を進んでお

ります。ロボットにおいて、二足歩行の原理（ゼロモーメントポイント（ZMP）理論）をきっかけに、急速に二足歩行が発達したように、私にも入学当初の考えが変わるきっかけがありました。後に指導教員となる五十嵐淑郎先生との出会いです。通学中の信号待ちで偶然隣になり、誘われるまま研究室を見学させて頂いた時に、分析化学に興味を持ちました。研究室配属後、専門的な能力を身につけさせて頂いただけでなく、プライベートにおいて先生のご子息に水泳を教える中、みるみる上達していく様子を見ているうちに、教える職業にも関心を持ちました。また、子供時代、これからは国際化の時代だと言われながら、どこか自分とは無縁だと思っておりましたが、現職の富山高専に就任後、お世話になりました丁子哲治先生（現鹿児島高専の校長）、袋布昌幹先生のおかげで、研究の海外展開をさせて頂くことができました。相田みつをさんの作品で、「そのときの出会いが人生を根底から変えることがある よき出会いを」との言葉がございしますが、出会いや縁というのは、それまで持っていた価値観を大きく変化させる力を持っているのだと、改めて感じるこの頃です。今後どう変わっていくのか全く予想もつきませんが、これまでと同様、出会いや縁がきっかけとなり、大きな変化が生まれるよう、皆様におかれましては今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、次号は、学生時代から苦楽を共にしてきました茨城県工業技術センターでレアメタルの分離・回収の研究をされている加藤 健氏にバトンを引き継ぎたいします。お忙しい所、ご快諾頂きありがとうございます。新年初めに拝読できることを楽しみにしております。

〔富山高等専門学校 間中 淳〕